

湿
原



新
妻
博

鳥たち 沈鐘の鳥類よ
湿原は啾啾
やがて慟哭に昏れて行くだろう
空行く風はひそやかに
連なる山脈は
その影を濃くし
秋冷の気は
湿原を巨大な彩色盤に染上げる

ひとびとが残酷の湿原とよぶ
このオリヴいろの静寂を
けっして
「サイレント・スプリング」に
しないために
たしかな今日があり
不安におののく明日がある
鳥よ その沈黙の高貴ゆえに
おまえの悲しみは
一層 底深い
いま 湿原は
こみあげてくる生の感動を
抑えられるだけ おさえ
押しころし
極星の わずかな光芒にも
するどく感応する

(詩人・副会長)